

インターンシップ

（一社）山口県建設業協会が県内3高校とインターンシップを行いました！

県内企業を対象に、平成29年2月から10月までインターンシップが行われ、3校77名の生徒が実際に職場体験をしました。今回はその中から9人の感想文を紹介します。

山口県立山口農業高等学校

環境科学科・参加生徒25名

大賀 幹・(株)アサヒコンサル

1日目は、防府のゴルフ場でトータルステーションを用いて電子平板測量をしました。器械の据え付けをしましたが、学校で習ったオートレベルの据え付けよりやるのが多くて難しかったです。

2日目も、トータルステーションで測量しました。据え付けや観測が徐々にスムーズにできるようになり、楽しくなりました。

3日目は午前中、山で立木調査をし、午後から、ゴルフ場で水準測量を少しして、その後に電子平板測量の続きをしました。



最終日は、社内での測量の基礎や種類などについて、映像や画像などをを使って教えていただき、その後、会社の外で目測の練習をしました。ほとんど道具を使わずにできるので、目測は日常生活で結構役に立ちそうだなと思いました。また、小郡総合支所に行き、今度(株)アサヒコンサルが測量をするのであいさつや打ち合わせなどをしました。こういう関わりも働く上で大切でコミュニケーションの重要性が解りました。今回の現場実習での経験を、自分の就職するときの参考にしようと思いました。

瀧口 智也・(石山建設)

現場実習の1日目はまず、企業とは何か、建設業とは何かなどの基本的なところからとても分かりやすく教えていただきました。

んの色で引かれた線が見分けがつかないほど複雑に、そして正確に引かれていました。今まではとりとめもなく見ていた工事現場がとても身近に感じられました。



福岡 亮太・(株)ガンシン

僕はこの3日間のインターンシップでたくさんのことを教えていただきました。

まず初めに、国や県や市から入札して仕事を受けた後に、施工計画書というものを提出しなければいけないことや、設計図の見方やセオドライトの素早い据え付け方法などを学びました。中でも一番難しかったのは座標の計算です。理解するまでに6時間ぐらいかかりました。公式がたくさんあり、ややこしく、理解に時間がかかりましたが、担当の友森さんにとっても丁寧に教えていただいたので、今ではノートを見ながらやれば、解けるようになりました。



この3日間のインターンシップで友森さんに教えていただいたことを、これからも忘れないようにしていきたいと思います。そして教えていただいたセオドライトの据え付け方を実習で行い、他の人を驚かせたいと思います。

山口県立田布施農工高等学校

環境土木科・参加生徒17名

酒井 一樹・共同産業(株)

今回の現場実習では、まず初めに現場の方々へ挨拶をしました。とても緊張していましたが、現場の方々とは優しく、質問をすると、丁寧に細かいところまで教えてくだ



その後、下水道管の調査を実際に見ながら説明を聞き、TVカメラ車という機械を実際に操作

させてもらい、とても貴重な経験ができました。午後からは、山口アスコンに行き、アスファルトプラントでの合材作りについて見学しながら教えてもらい、簡単な合材作りも経験させてもらいました。

2日目は、富海の工事現場を見学させてもらい、測量の練習をしました。トータルステーションの据え付け方を教えていただきましたが、現場の方は据え付けがとても早く驚きました。かなり練習をしたと言われていたので、練習は大事だなと思いました。

3日目は、山口道路維持工事の手伝いに行き、国道9号線の中央分離帯の草刈りをしました。自分は草刈機で刈った草を集めるという作業をしました。暑さもあつたのでかなりしんどかったです。でも、きれいになったところを見ると、とてもいい気分になりました。

最終日は、山口レミコンと横川碎石で見学をさせていただきました。この4日間で本当にいろんな事を教えてもらい、いい経験をさせていただきました。何よりも大切なのは、あいさつだなと思いました。

森國 渥太・(株)宗像建設

インターン初日は、高圧線の鉄塔の測量を2人で協力して行いました。鉄塔の測量はすごく難しく2人とも正確に測れませんでした。2日間の実習の中で、一番驚いたことは、「コロンブス工法」という工法を間近で見ることでできたことです。コロンブス工法とは、外枠を鉄筋で作り、中は大小の発泡スチロールを組み合わせて、コンクリートを流し込む工法です。とても珍しい工法を実際に目の前で見ることで、良い体験になりました。



この現場実習を通して、現場の雰囲気、どんな仕事をしているのかなど、今まで分からなかったことが分かったような感じがします。一年後の就職活動に、この経験をものに希望の企業に就職できるよう頑張りたいです。

松本 未来・井森工業(株)

この2日間のインターンシップでは、たくさん事を学びました。1日目は、大島大橋付近まで行き、大島大橋橋脚補強工事を見に行きました。普段は道路工事などしか見たことがありませんでしたが、この工事は海の中で行われているので、最初聞いたときはとても驚きました。初日というところもあり、とても緊張しましたが、職場の方や、現場の方が温かく迎え入れてくださったので、しっかり学ぶことができました。この工事は、潮の満ち引きがあるため、約一時間しか工事ができません。普段何も考えずに通っている橋でしたが、今回の工事を見学し、改めて工事をしてくれる現場の方々がいるおかげで、いつも安全に通行できていると感じ



でした。次に、歩車道境界ブロックの撤去作業を見学に行きました。硬いコンクリートブロックも小型の専用車両を使えば簡単に撤去されてとても驚きました。

2日目、1日目の反省を生かして鉄塔の測量を正確に、そしてすばやくやりました。今回はしっかりと正確にできて、ほめられ、嬉しかったです。次に、下水管を設置するところを見ました。建設会社の人もめつたに見られないくらい珍しい現場で、すごく貴重な経験させていただきました。最後に、シマダ(株)へ行きました。コンクリートを専門に扱っていろいろな現場に行っている現場で、コンクリート打設作業を見学し、大変良い経験になりました。



3日目、また鉄塔の測量をしました。前回よりさらに正確に測量をすることができました。その後、ダムと貯水施設を見学しました。

4日目、阿東町の方へ橋やダムなどの見学に行きました。山田橋工事現場では、交通渋滞や現場周辺環境への影響を考慮して防音システムや警備員などを使って、10秒ごとに旗をあげて工夫するなど考えて行っていました。次に、ダムを見に行き、最後に工事現場の写真などをパソコンで見て説明していただきました。それぞれ細かく分野ごとに整理しており、1枚1枚とても貴重なものだと思いました。土木の人々は、みんな優しく私も真似したいなと思いました。

ました。

2日目は、上関町に行つて、町道改良工事を見に行きました。この工事は、トンネル工事と、道路工事の二種類がありました。トンネルの中に入っていくと、たくさん作業員の方が作業をされていました。トンネル工事の内容説明を聞きましたが、とても難しかったです。道路工事では、測量の器械も使われていました。

この現場実習を今後の学習や、就職活動に役立てたいと思います。

浅田 拓馬・(株)勝井建設

今回の現場実習で学んだことがあります。それは、現場での作業はどれも責任感がなければ出来ないということです。作業のひとつが失敗すると、一からやり直しになってしまうこともあるからです。それに、工事に使用する機械一つにも責任者が必要だからです。



次に、安全を第一に作業をしなければならぬということ。安全に作業をしないと、現場で働いている人が怪我をし、更に作業が遅れ、工期に間に合わなくなってしまう、会社の信用も失ってしまうからです。そのために現場では、毎日安全確認や、危険箇所の確認をして、事故や怪我を負わないように注意し、作業中でも、気付いたことは声に出していました。

現場では、作業員の方々は責任感を持って働かれ、安全に関しても、毎日安全確認をし、安全箇所の確認をされていました。服装の確認や、確認したことをいつでも見返すことが出来るように看板に紙を貼られていました。今回教えていただいたことを、これからの学校生活や進路に活かしていきたいと思っています。

平成29年インターンシップ実施企業のべ42社 (参加生徒数 77名)

2月15～17日

岩国工業高等学校 都市工学科

八木興業(株)

長畑建設工業(株)

勝井建設(株)

(株)ガンシン

(株)太昭組

日栄興業(株)

(株)藤川興業所

(株)ミヤベ

(株)村中工務店

(株)森野組

(株)共同建設

松村興産(株)

(株)福本工務店

西山建設(株)

(株)中村組

(株)エムエスシー

(株)坂本建設コンサルタン

錦測量事務所

8月22～25日

山口農業高等学校 環境科学科

石山建設(株)

山口建設(株)

(株)技工団

シマダ(株)

(株)宗像建設

熊野舗道工業(株)

熊長田組

成長建設(株)

明和技術コンサルタント(株)

(株)アサヒコンサル

(株)リクチコンサルタ

(株)山口建設コンサルタ

三建調査設計

10月26～27日

田布施農工高等学校 環境土木科

井森工業(株)

(株)大池組

勝井建設(株)

光環境整備(株)

(株)中山組

和泉産業(株)

共同産業(株)

街泉土木コンサルタ

(株)異設計コンサルタ

(株)ソイル・ブレーン

